

「米国エネルギー・ハイインカム・ファンド」  
(愛称：エネハイ)

●投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、**これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**  
したがって、**投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。**なお、投資信託は預貯金と異なります。

**基準価額の変動要因**

基準価額の変動要因としては主に以下のリスクがあります。ただし、以下の説明はすべてのリスクをあらわしたのではなく、これらに限定されるものではありません。

■ **価格変動リスク**

ファンドが主要投資対象とするパフォーマンス連動債は、MLP指数のパフォーマンスにより価格および償還価額が変動する性質を有しています。また、MLP指数は20銘柄のMLPで構成される指数です。このため、指数を構成するMLPの価格変動はMLP指数の動きに影響を与え、当ファンドの主要投資対象であるパフォーマンス連動債の価格変動要因となります。MLP指数の下落(上昇)はパフォーマンス連動債の価格の下落(上昇)要因となり、結果としてファンドの基準価額の下落(上昇)要因となります。

■ **為替変動リスク**

ファンドは組み入れている外貨建資産に対する為替ヘッジは行いません。このため、外貨建資産の表示通貨が対円で下落(上昇)した場合には、ファンドの基準価額の下落(上昇)要因となります。ファンドが主要投資対象とするパフォーマンス連動債は米ドル建てのため、米ドルが対円で下落(上昇)した場合には、ファンドの基準価額の下落(上昇)要因となります。

■ **銘柄集中リスク**

ファンドは、特定のパフォーマンス連動債を高位に組入れ、直接的な分散投資は行われません。このため、ファンドの基準価額は、パフォーマンス連動債の価格変動の影響を大きく受けて変動します。また、パフォーマンス連動債の価格は、MLP指数の動きにより変動します。MLP指数は20銘柄のMLPで構成される指数のため、特定のMLPの価格変動の影響を大きく受けて変動する場合があります。結果として、ファンドの基準価額が特定のMLPの価格変動の影響を大きく受けて変動する場合があります。

■ **信用リスク**

- ファンドが主要投資対象とするパフォーマンス連動債の発行体であるコデイス・セキュリティーズ・エス・エイ(以下、「コデイス」といいます。)の経営・財務状況、信用状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、パフォーマンス連動債の価格が下落した場合や債務不履行が生じた場合には、結果として損失が発生し、ファンドの基準価額が下落する場合があります。
- ファンドにおいて資金の運用をコール・ローンや譲渡性預金等の短期金融商品で運用する場合には、債務不履行が生じる場合があります。結果として損失が発生し、当ファンドの基準価額が下落する場合があります。

■ **流動性リスク**

ファンドが主要投資対象とするパフォーマンス連動債は、パフォーマンス連動債の残存期間中における売買に関して、通常は、パフォーマンス連動債の値付け業者等が相手方となり売買を成立させる形式を取ることにより流動性の確保が図られています。ただし、市場環境が急変した場合やパフォーマンス連動債に係る大量の売買注文が発生した場合、値付け業者等が値付け業務や売買を制限・延期・中止した場合、パフォーマンス連動債が参照するMLP指数の算出・公表等に遅延・停止が生じた場合等には、パフォーマンス連動債の価格が大きく変動したり売買に支障が生じることがあり、その結果としてファンドが損失を被り、ファンドの基準価額が下落する場合があります。

その他の変動要因については、交付目論見書の「投資リスク」をご参照ください。  
上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

商号等 : リクソー投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 415 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

● ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	<p>購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に<b>3.780% (税抜3.5%)</b>を上限として販売会社がそれぞれ定める料率を乗じて得た額</p> <p>※購入時手数料は、購入時の商品および関連する投資環境の説明・情報提供等、ならびに事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。</p>		
信託財産留保額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬)	<p>純資産総額に<b>年1.21500% (税抜 年1.1250%)</b>の率を乗じて得た額</p> <p>&lt;信託報酬の支払先の配分および役務の内容&gt; 信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率</p>		
	委託会社	販売会社	受託会社
	<p>〔ファンドの運用、受託会社への運用指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等〕</p> <p>年0.40500% (税抜 年0.3750%)</p>	<p>〔購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および各種事務手続き等〕</p> <p>年0.75600% (税抜 年0.7000%)</p>	<p>〔投資信託財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等〕</p> <p>年0.05400% (税抜 年0.0500%)</p>
その他の費用・手数料	<p>※ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上され、毎計算期末または信託終了のときに、投資信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組入有価証券等の売買に要する費用や外貨建資産に係る保管費用等 ※運用状況等により異なり、あらかじめ見積もることが困難なため、費用毎の金額もしくは上限額、またはこれらの計算方法を記載することはできません。</li> <li>● 監査費用として、純資産総額に年0.0108% (税抜 年0.01%)の率を乗じて得た額を上限に実費の額 ※監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用です。</li> <li>● 法定書類等の作成に要する費用等として、純資産総額に年0.108% (税抜 年0.1%)の率を乗じて得た額を上限とする額 ※監査費用および法定書類等の作成に要する費用等に関しては、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上され、毎計算期末または信託終了のときに、投資信託財産中から支払われます。</li> </ul> <p>上記は主なその他の費用・手数料であり、これらに限定されるものではありません。その他の費用・手数料の詳細については請求目論見書をご覧ください。</p> <p>当ファンドでは直接支払うことはありませんが、パフォーマンス連動債の評価額算出にあたっては債券管理費用として0.30% (年率)と3万米ドル (上限、年間)が考慮されます。また、その他の費用が生じる場合もあり、これらの費用は当ファンドの基準価額に影響を与えます。</p>		

投資者の皆様の負担となる手数料(費用等)の合計額については、保有期間等により異なりますので記載することができません。

商号等 : リクソー投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 415 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会